

イノシシ

対策の 手引き



イノシシ防除の十カ条

心がまえ

その一 相手を知る！

その二 他人まかせにしない！

その三 集落で共通意識を持つ！

その四 噂に惑わされない！

その五 あきらめない！

対策

その六 集落に入れさせない！

その七 「嫌がらせ作戦」で
隠れ場所をなくす！

その八 防除柵を過信しない！

その九 臭い・音・光に慣れる前に
次の手を！

その十 効果的な捕獲！！

「山奥の一〇頭より里の一頭」！



山口県



イノシシ

日本にいるのはニホンイノシシとリュウキュウイノシシ。ニホンイノシシはこれまで生息が難しいといわれていた豪雪地帯にも分布を広げつつあり、ここ数年、被害が急増している。昼間は茂みのなかで休み、日没後に田畑に侵入する。

特徴

●イノシシを見たらサルと思え

①警戒心が強く、臆病

イノシシは臆病で注意深い動物。なかなか人の前に姿を現さない。「猪突猛進」はその性格の裏返しで、パニックになって逆上したときの姿だ。

②1m以上を

飛び越える高い運動能力

イノシシは助走なしで1m以上の柵を飛び越える。よじ登ることのできる柵



その場ジャンプでヒラリと高さ1mの柵も飛び越す (ビデオ撮影)

ほか、昆虫の幼虫やミミズ、サワガニ、カエルなどを食べる。クズの根はお気に入りなので、クズが繁茂していたら要注意だ。

③学習能力も高い

人の動きをじっと観察する賢さがあり、「イノシシを見たらサルと思え」と研究者がいうほど、イノシシの学習能力は高い。覚えが早く、一度覚えると忘れない。なお、視力は悪くはないが、青系統以外はみな灰色と同じ色に見えるようだ。

④鼻は繊細かつ豪胆

重いものを持ち上げたり、地面を掘ったり自在に動くイノシシの鼻は、さながらパワーシヨベル。

同時に全身の感覚が集まる場所でもある。嗅覚は犬に匹敵するほど優秀。また触覚も発達し、鼻で感触を確かめる。電気柵ではこの繊細な鼻をねらう。

⑤植物食中心の雑食家

イノシシはイモや根茎、タケノコ、ドングリなどの



くぐる、跳ぶ、鼻を使う、剛毛がある——イノシシの身体能力

対策

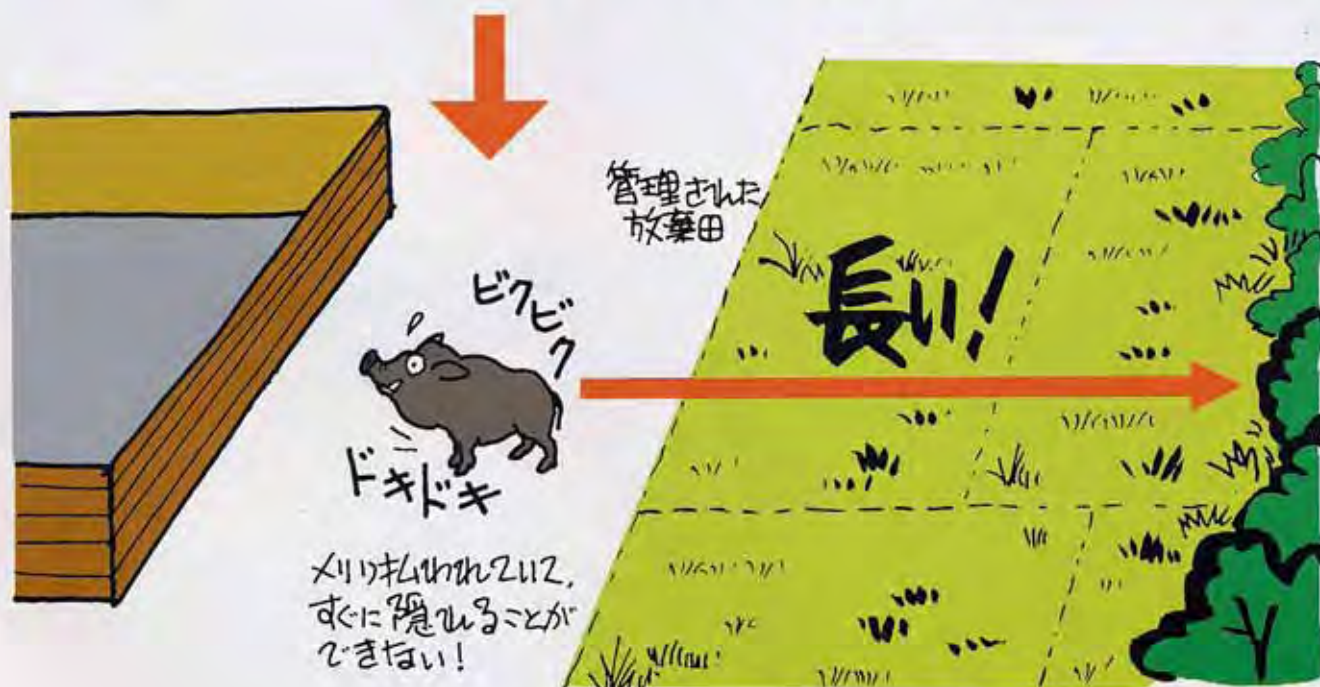
● 集落全体で徹底的に嫌がらせ

クズ野菜、生ゴミ、落下果樹、墓地の供え物などの放置は餌付けと同じ。即回収するか、見えないように隠すなどの処置をする。また、耕作放棄地や田畑周辺のヤブを刈り払って見通しをよくし、隠れ場所をなくすなど、イノシシが嫌がる環境をつくるのが対策の第一歩だ。自分の田畑は自分で守ることが原則だが、同時に、みんなの田畑はみんなを守る



まとめて放置された果物

人間から見ればただのゴミも、イノシシにとってはごちそうになる



畑の周りを2~3m刈り払うだけでも効果がある

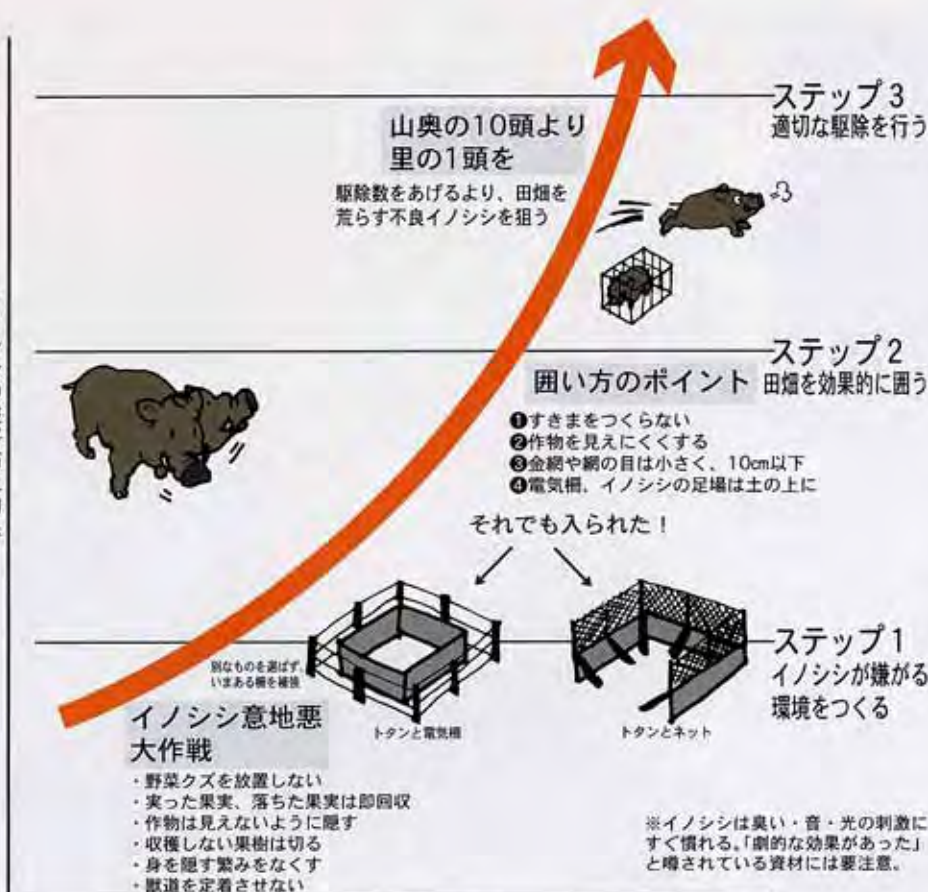
ことによっては、イノシシは集落へ近づかなくなってくる。

●「電気柵」手入れがなければ「ただの柵」

トタンや金網、あるいは電気柵で囲うのは重要な対策。だが、安心は

できない。わずかなすきまでもあればおいしい「エサ」を発見。くぐり抜ける、跳び越えるなど高い運動能力を駆使して突破してくる。とくに、お金をかけた電気柵は過信のもとだ。電線に雑草が接触していると漏電状態になってしまうので、下草の管理を怠ればただの柵と変わらなくなる

イノシシの被害防止効果



3つの対策をバランスよく行なうことが大事

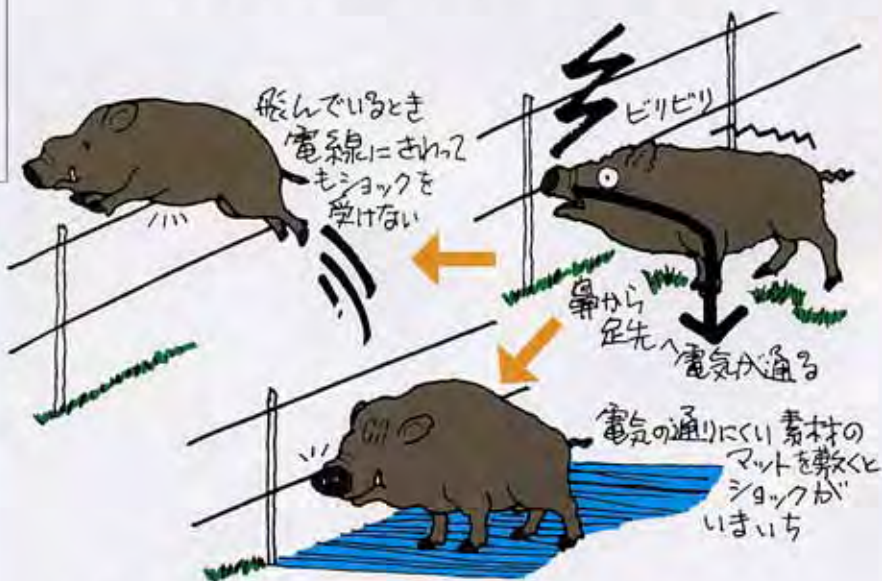
イノシシの被害防止効果は、ステップ1を土台に2、3と順々に高まっていく



ことも。イノシシは鼻先以外、電気ショックを受けないことも忘れずに。

●山奥の10頭より里の1頭

山奥のイノシシを追いまわして、わざわざ里へ追い込み、かえって作物の味を覚えさせることもありうる。山奥にいて悪さもしていない10頭のイノシシを捕獲するより、里へ出てきて田畑を荒らす「不良」の1頭を捕えたほうが被害は減少する。



せっかくの電気柵もイノシシが地面に足を着けていないと効かない

防護から捕獲へのステップアップ

被害を確実に減らすためには、里に出没しているイノシシを直接捕獲することが有効です。

そのためには「狩猟免許」が必要となりますので、お近くの農林事務所森林部にお問い合わせ下さい。